

## 2020.8.9(日)は絶好日!!

10時灯台下に集合、天候・絶好の曇天。はげっ子倶楽部(はげっ)行事。指導・黒澤高秀先生、新妻代表、郡山から樹木医の三瓶さんと、会員10名が参加。工事が終了して、一年目、二年目です。無断では入れない自然保護区域!!を歩いてまわりました。

## 松川浦の今の姿

大大津波、あれから9年半、大洲の浜は、ガラリと変わりました。灯台から南に延びるかつての白砂清松の浜は・・・? 松林は・・・? (昔の姿は「マルゴト松川浦」参照)

## 黒澤先生(福大)の存在!!

「塩性湿地」の場所は、大洲の灯台～磯部の海岸道路の西側。ともすると、防災のコンクリート土木工事優先の昨今、自然界の営みによる再生を観察・研究出来る稀な貴重なエリア(10ha)として確保されました。

南北に3箇所?のエリアは、ひとえに先生や県工事関係者の理解のもとに残された貴重なあらゆる生き物の財産です。海水の出入りにも配慮されました。残骸を片付け整地のために、重機も入りましたが、干潟の再生が楽しみです。単なる荒地ではなく、時の経過と共に価値が上がること必至です。県内唯一。

先生なくしては、確保出来なかったもので、感謝感謝です。

## 干潟湿地の再生

先生の車に先導されて、北から三箇所を移動。あちこちに、水溜まりのある干潟には、ハマツナ、ハマサジ、黄色の花を付けたハチジョウナ、ハマヒルガオの葉、イガカヤツリグサ……、北端のエリアを古港(ふるみなと)干潟と命名とか。

## カニ蟹ワールドも

一時は戦災孤児?だった蟹たちも、涼しい?我が家(穴)から出て、食べ物を探しているのか? 元気に走り回っていました。

ピラミッド? ケルン? 型みたいなのドロ団子の山もありました。

水面を得意気にスイスイと、歩く虫はアメンボ? 人も水面を歩けないものかなあ。なにせ、コロナ知らずの虫たちが羨ましい。

## 塩生湿地の再生と嫌われ者

塩生湿地の再生も楽しみです。ドッコイ、ニックキ外来植物の繁茂も心配です。アレチ(荒地)ウリ、セイタカアワダチソウ、…。

在来植物、外来植物は、今後どうなるのでしょうか。どんな影響があるのでしょうか。どうすべきなのでしょうか。人は、どうにかできるのでしょうか。

## 浜のゴミ問題=食べる魚

海岸に、海中に、人の出したゴミは、氾濫しています。

今回はゴミ拾いも、併せて行いました。市指定のゴミ袋に、7~8個を、夫々に持ち帰りました。捨てられたゴミを見たら、まず一つのゴミを拾いましょう。

(T.A)